

コンテナ苗のメリット

効果が実証がされ、実用化が進むことで造林経費の低コストが図られる可能性が大

苗木の生産

- ①根切りが不要
- ②育苗期間の短縮

・ 今後生産量増加に伴う育苗コストの削減



植付

- ①活着が良く、植付け時期を選ばない（冬期を除く）
- ②根踏みが簡単
- ③根系の発達が良く生長が良い

・ 植付工期の改善
・ 下刈回数の削減



一貫作業（伐採から地拵・植付け）

- ①機械の現場移動がない
- ②伐採・搬出中に地拵え作業実施
- ③伐採後、即植え付け作業

・ 地拵経費の削減
・ 植付経費の削減
・ 請負間接経費の削減



取組目標

現状の把握

効果の検証

理解の共有

平成26年度における当署の取り組み

- ・ 北斗市の育苗業者を視察し事業体の現状の把握
- ・ 植付器具別 工期調査の実施
- ・ 継続した活着率・成長量調査の実施（駒ヶ岳・七飯担当区部内）
- ・ 民有林関係者とコンテナ苗の優位性等について意見交換
- ・ 理解を深めるため民有林関係者と現地検討会の実施

取組成果

コンテナ苗に対する正確な認識と理解で効果と実用性の検証が必要

今後に向けて

引き続き、効果の実証や実用化の検証等を実施するほか、関連機関と連携し、苗木生産者への情報の共有等により、安定した生産が可能となるよう取り組むことでコスト低減を図ることとする。